

■畜産共進会

畜産振興の発表の場。優勝は、「背中の線がまっすぐしている」との高評価を得た、さくら号。(直塚治長さん出品)



第39回 海士町産業文化祭

11月21日、22日の2日間、秋の一大行事である産業文化祭が開催されました。今年は11月後半の開催ということで肌寒く、初日の午前中には雨に見舞われましたが、それでも連日朝早くから出店に買い物に来られる方、作品展示を見に来られる方など大勢の人出がありました。

初日は午前からセンター集会所で海藻シンポジウムが開催され、海士町の海藻産業についての講演と、濱中美知子さんら海藻料理研究グループによるオリジナル海藻料理の試食会が行われました。午後は海士中学校3年生らが環境に関する発表を行い、続いて海士の水産業の今後を考える住民討論会が行われました。(※左ページ参照)

2日目は爽やかな秋空の下、畜産共進会で生産者が手塩にかけて育てた自慢の子牛たちを披露しました。地域芸能祭では小学生から大人まで12団体が登場。子供達の愉快な演目や、熟練された芸に魅了され、大変盛り上がりました。

今年第40回の節目の祭りです。例年以上に盛り上がるよう地域の方々の協力を得ながら作り上げていきますので、よろしくお願致します。

(海士町中央公民館)



■身近にできるエコ講座

今年のエコ講座は、『ダンボールコンポスト講座』。ダンボールを使って簡単に生ゴミを堆肥に変えることができます。好評につき、再度3月中旬に講座を開催します。一緒に楽しく生ゴミを減らしましょう！
(問合せ→教育委員会、井上 Tel:2・1221)



■ふるさと検定

初めての開催となった『ふるさと検定』。老若男女、様々な方に受検していただきました。「これを機会に、海士町に住んでいる方にもっとふるさとについて知ってもらえれば」(教育委員会、宮崎)

■地域芸能祭

(上) 放課後児童クラブ「あまっ子」(保護者含む)の寸劇「がいなカブ」。子供22人+大人10人の熱演で会場は大爆笑の渦！
(下) 菱浦神楽同好会による島前神楽。力強い囃子にあわせての舞いは、芸能祭のトリにふさわしい圧倒的な迫力でした

